

ハピナ名掛丁商店街



伊達成実

政宗様、ハピナ名掛丁商店街ですが、実は名掛丁はもともと仙台駅の東側まで続いていたことはご存知でしたか?



伊達政宗

もちろんじゃ。駅の向こうには「名掛丁」の地名も残っておるし、「名掛丁藤村広場」なる憩いの場所もあったな



さすがでございます。では、謎の手がかりを探しに参りましょう。仙台駅側から商店街に入ると、左手にお茶と和雑貨のお店が見えてくるはずですが……



どうやらあの店がそららしいな。謎を解いて、おいしいお茶でも飲もうではないか



四ツ谷用水

商人や職人が住んでいたクリスロード側と、侍が住む屋敷があった名掛丁側の境目には、伊達政宗公の命によって作られた用水路がありました。足元のタイル模様は、当時ここを流れていた水の流れをイメージして作られています。



政岡通り

仙台藩のお家騒動を題材にした歌舞伎の中で、我が子を犠牲にして幼い藩主に忠義を尽くした乳母「政岡」から取って、政岡通りと呼ばれています。



名掛丁センター街

名掛丁商店街に古くから店を構える京屋ビルと正礼堂ビルの共同通路が、「名掛丁センター街」と呼ばれる飲食店街です。仙台駅から歩いて1分、懐かしさと新しさが共存する仙台駅に一番近い横丁として親しまれています。



奥州・仙台 おもてなし集団伊達武将隊

仙台藩初代藩主・伊達政宗公と政宗公を支えた伊達三傑(伊達成実、片倉小十郎景綱、茂庭綱元)、景綱の息子で鬼小十郎と呼ばれた片倉小十郎重綱、政宗公の海外への夢を携えてヨーロッパへと渡った支倉常長、みちのくを旅した松尾芭蕉、伊達の隠密 黒脛巾組のの一・畠の8名で構成! 仙台・宮城・東北の魅力を伝えるために400年の時を経て現代に蘇り、仙台城を拠点として日本全国、海外へも出陣して日々おもてなしに励んでいる。

奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊、いざ出陣!

<https://datebusyou.jp/>

谷風通り

江戸中期の仙台に生まれ、力量・品格を兼ね備え、「古今無双の名横綱」といわれた横綱谷風にあやかり名付けられました。勾当台公園には「谷風像」が建ち、今も郷土を見守っています。



ガス燈

仙台市地下鉄南北線の開業を記念して、昭和62年に仙台駅前エリアから名掛丁エリアにかけて、110基のガス燈が設置されました。およそ4基に1つの割合で伊達政宗公騎馬像のオブジェが飾られています。日が落ちる頃にともるガス燈の温かな灯りは、今日も名掛丁の夜を優しく包み込んでいます。

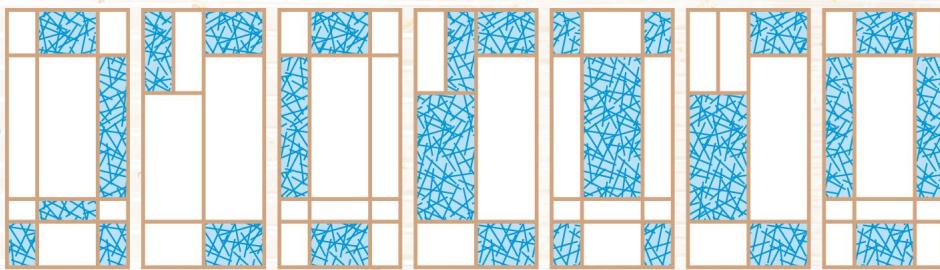


名懸組

伊達家に特に名を懸けられて取り立てられた侍の一団が「名懸組」です。藩政時代に、この「名懸組」の屋敷が、新伝馬町(現在のクリスロード)の東から東七番丁・車町までの場所に置かれていたことから「名懸丁」と呼ばれ、以降、その名を受け継いでいるのが名掛丁です。

三つ前の元号の名がついた店の前に行き、二階を見上げよ。
窓枠と下の図を見比べて、正しい順番に並べたときにできる言葉を答えよ。

…模様がある窓



…透明な窓

ハピナ名掛丁商店街の謎の
答え